

船舶事故等調査報告書

平成21年6月25日
運輸安全委員会(海事専門部会)議決

事故等番号	2008広第136号	
事故等名	貨物船大照丸貨物船安芸嶋衝突	
発生年月日時刻	平成20年12月12日05時37分ごろ	
発生場所	広島県呉市音戸灯台から真方位180° 620m 付近 (概位 北緯34° 11.6′ 東経132° 32.2′)	
事故等調査の経過	調査の概要:平成21年2月4日及び3月9日広島・地方事故調査官が海難報告書を手 入手し、両船船長に事故発生状況及び損傷状況等について照会して、 回答書入手、3月27日B船船長から口述聴取 原因関係者からの意見聴取:意見なし	
事実情報		
船種・船名・総トン数 船舶番号(IMO 番号) 船舶所有者等	A 貨物船 大照丸 332トン 132531 有限会社益井組	
船種・船名・総トン数 船舶番号(IMO 番号) 船舶所有者等	B 貨物船 安芸嶋 199トン 134065 日伸運輸株式会社	
乗組員等に関する情報	A 船長 四級海技士(航海) B 船長 五級海技士(航海)	
負傷者	A なし B なし	
損傷	A 左舷船尾部カーテンプレート、ハンドレール曲損 B 船首部擦過傷	
事故等の経過	A船は、空船で、広島県呉市上蒲刈島に向けて航行中、呉市音戸瀬戸の5m 維持水深の水路の右側を南下して、音戸大橋に差し掛かろうとしたとき、左舷方の音戸瀬戸南口の鼻崎の東方から音戸瀬戸に西航してくるB船を確認できない状況で水路の右側を航行し、またB船は、空船で、広島県呉港に向かうため、音戸瀬戸南口の鼻崎に近寄って音戸瀬戸を北進しようとして、音戸瀬戸の5m 維持水深の水路の途中に向けて航行中、平成20年12月12日05時37分ごろ、A船の左舷船尾とB船の船首が衝突した。 天気は晴れで、風力1の北東風が吹いていた。	
分析	気象・海象の関与 乗組員等の関与 船体・機関等の関与 判明した事項の解析	なし あり なし A船は、音戸瀬戸を南進中、早期に避航措置を行わず、また、B船に対してわん曲部信号を行わなかったものと考えられる。 B船は、音戸瀬戸を北進中、音戸瀬戸南口灯浮標を左に見るように同灯浮標に近寄って航行せず、また、A船に対してわん曲部信号を行わなかったものと考えられる。
原因	本事故は、夜間、A船が音戸瀬戸を南進中、B船が音戸瀬戸を北進中、A船が早期の避航措置及びB船に対するわん曲部信号を行わずに航行し、またB船が、音戸瀬戸南口灯浮標に接近し左に見て航行する方法及びA船に対してわん曲部信号を行わず、航行したため、両船が衝突したことにより発生したものと考えられる。	

その他の事項	なし
--------	----